

積雪分類 WG 報告

的場 澄人(北大・低温研)

昨年、学術委員会の下に積雪分類 WG(代表:尾関俊浩)が発足しました。この WG の目的は、2009 年に発行された「The International Classification for Seasonal Snow on the Ground (prepared by the ICSI-UCCS-IACS working group on snow classification)」の取り扱いについて(導入するしないも含めて)、雪氷学会会員に提案すること、現在の日本の積雪分類を見直すことです。

WG から各分科会へ委員を選出する要望があり、極地雪氷分科会からの的場が WG に参加しています(雪氷化学分科会からも兼ねて)。

2018 年 6 月 22 日に第一回の会合が北大低温研で行われ、概ね以下のことが決まりました。

新分類について

- ・2009 年に出版された新国際分類について、全ての内容の翻訳を行う。
- ・WG において作成した国際分類の翻訳版の案を分科会に公開し、ヒアリングを行う。ヒアリングの実施にあたっては、WG での検討内容を雪氷学会会員に公表し、分科会へのヒアリングを行う旨を事前にアナウンスする。

など

日本の積雪分類見直しについて(概要)

- ・国際分類の大分類を日本の積雪分類に移行する形で、積雪分類の改定を行う。
- ・人工雪を新しく分類に加える。
- ・各分類の定義を国際分類の内容に統一し、変更点については説明を記載する。
- ・日本の積雪分類の名称については変更を行わない。

など

二回目の会合は、研究大会の時に行う予定でしたが、大会が中止になったため、現在、ISSW の出席者で会合中です。

The International Classification for Seasonal Snow on the Ground の公開先

<http://unesdoc.unesco.org/images/0018/001864/186462e.pdf>